

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】令和4年6月23日(2022.6.23)

【国際公開番号】WO2020/190313
 【公表番号】特表2022-528048(P2022-528048A)
 【公表日】令和4年6月8日(2022.6.8)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-102
 【出願番号】特願2021-556920(P2021-556920)
 【国際特許分類】

10

G 0 9 F 9/00(2006.01)
 G 0 9 F 9/33(2006.01)
 G 0 2 B 30/10(2020.01)

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 1 1
 G 0 9 F 9/33
 G 0 9 F 9/00 3 6 2
 G 0 9 F 9/00 3 2 4
 G 0 2 B 30/10

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月15日(2022.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光学レンズと、

30

移動可能なステージに搭載されたLEDのレイであって、LEDが光学レンズを通して光を投射するLEDのレイと、

前記ステージの移動に伴って、前記レンズを通過する光が変化するように、前記ステージの移動を制御するドライバとを含み、

前記ステージは前記光学レンズに平行に移動し、前記ステージの移動によって前記LEDのレイが移動し、

前記LEDのレイのうちの少なくともいくつかのLEDは、異なる光波を出射し、

前記光学レンズは、該光学レンズを通して投影される前記異なる光波を、複数の角度で出射して光多重化を達成するように曲げることを特徴とする光多重化パッケージ。

【請求項2】

40

前記ステージがリニアコームベースのデバイスであることを特徴とする請求項1に記載の光多重化パッケージ。

【請求項3】

前記LEDは、互いに60ミクロン以下の間隔で配設されたマイクロLEDであることを特徴とする請求項1に記載の光多重化パッケージ。

【請求項4】

前記ステージが2つの軸に沿って直線的に移動することを特徴とする請求項1に記載の光多重化パッケージ。

【請求項5】

前記ステージは、1つの軸の周りに回転可能であることを特徴とする請求項1に記載の光

50

多重化パッケージ。

【請求項 6】

前記 L E D のステージは、前記ドライバから個々の赤、緑、および青の L E D への接続の必要数を減らす L E D ドライバ回路を含むことを特徴とする請求項 1 の光多重化パッケージ。

【請求項 7】

L E D が結合してピクセルを形成し、隣接するピクセルが同じ色の L E D を共有することを特徴とする請求項 7 の光多重化パッケージ。

【請求項 8】

前記 L E D と前記光学レンズの間で光が反転することを特徴とする請求項 1 に記載の光多重化パッケージ。 10

【請求項 9】

ライトフィールドディスプレイに使用されることを特徴とする請求項 1 に記載の光多重化パッケージ。

【請求項 10】

ディスプレイが複数の光多重化パッケージを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の光多重化パッケージ。

【請求項 11】

前記ステージの移動によって複数の光路が形成され、ビューアは複数の光路で異なる画像を認識することを特徴とする請求項 1 に記載の光多重化パッケージ。 20

【請求項 12】

異なる画像が単一の 3 次元画像としてビューアに表示されることを特徴とする請求項 11 に記載の光多重化パッケージ。

【請求項 13】

前記 L E D のアレイが C M O S M E M S デバイスに直接搭載されていることを特徴とする請求項 1 に記載の光多重化パッケージ。

【請求項 14】

L E D を含む較正システムであって、L E D がセンサと通信し、ステージの相対的な位置を決定して、L E D アレイの位置を決定する較正システムを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の光多重化パッケージ。 30

【請求項 15】

前記複数の角度の異なるビューアが異なる光波を受け取るように、前記ステージの移動によって前記 L E D のアレイが移動することを特徴とする請求項 1 に記載の光多重化パッケージ。